

平成30年度福岡市立学校教員採用候補者選考試験における選考について

(高等学校)

I 本市の求める教員像

本市の教員採用候補者選考試験では、次の「教員像」を基本として選考を行った。

- 公務員としての自覚と高い倫理観，教育者としての情熱と強い使命感を持つ人
- 広く豊かな教養と社会性を備え，教育専門家としての確かな力量を持つ人
- 心身ともに健康で，子どもへの愛情と豊かな人間性を持つ人

II 選考基準

1 第1次試験の選考

(1) 各試験科目の配点

試験科目	教養試験 ※1	教養試験 (一般教養分野のみ) ※2	専門教科	論文
配点	100点	50点	75点	50点

※1 一般選考（免除なし）区分及び特別選考（障がい者）区分における受験者が受験

※2 ※1以外における選考区分の受験者が受験

(2) 第1次試験の合格者数

教科（科目）	合格者予定数
英語 工業（建築）	採用予定者数の4倍程度

※合格予定者数は一般選考と特別選考を合わせた数

(3) 選考方法

○特別選考

各試験科目について、不可とする基準（不可の試験科目が一つでもある場合は不合格となるもの）を設定し、全ての科目で不可とする基準に該当しない者を合格とする。

【不可とする基準：下記の基準点未満，もしくは基準ランクの場合は不可とする】

試験科目	教養試験 (一般教養分野のみ)		論文
	基準点	英語	
基準ランク	工業(建築)	11点	C・Dランク

※社会人等特別選考の専門教科の「不可とする基準」は，一般選考と同様とする。

※論文試験ランク

ランク	説明
A	優れている
B	標準を上回る
C	論旨，論文構成等がやや不十分である
D	論旨，論文構成等が不十分である

○一般選考

第1次試験合格者予定数から特別選考における第1次試験合格者数を除いた数を一般選考での第1次試験合格者数とする。

ア 教職教養分野免除者の選考

- 試験科目の免除を受けない者を含む一般選考受験者を、「専門教科の得点」及び「教養試験（一般教養分野）の得点」の合計点の高い者から順に並べ、上位から一般選考での第1次試験合格者数までの順位内にある者のうち、教職教養分野免除者を第1次試験合格者とする。

イ 試験科目の免除を受けない者の選考

- 試験科目の免除を受けない者を「専門教科の得点」及び「教養試験の得点」の合計点の高い者から並べ、上位から、一般選考での第1次試験合格者数からアで合格となった数を除いた数までの順位内にある者を第1次試験合格者とする。

ウ 試験科目における「不可とする基準」の設定

- 各試験科目について、不可とする基準（不可の試験科目が一つでもある場合は不合格となるもの）を設定する。

【不可とする基準：下記の基準点未満の場合は不可とする】

教科（科目）	教養試験	教養試験 （一般教養分野）	専門教科
英語	35点	16点	22点
工業（建築）	21点	11点	16点

2 第2次試験の選考

(1) 各試験科目の配点

教科（科目）	面接	実技
英語	120点	36点
工業（建築）		60点

(2) 選考方法

- ア 採用区分ごとに面接得点の高い者から順に並べ、得点状況などを勘案しながら、区分ごとに合格者を決定する。
- イ 試験科目における「不可とする基準」の設定
- ・ 面接及び実技について、不可とする基準を設定する。

【不可とする基準：下記のランクの場合は不可とする】

採用区分(教科等)	面接	実技
英語	C・D	C
工業(建築)		

※面接試験ランク

ランク	説明
A	優れている
B	標準的である
C	標準をやや下回る
D	標準を下回る

※実技試験ランク

ランク	説明
A	標準を上回る
B	標準的である
C	標準を下回る

Ⅲ 各試験科目の評定及び問題等の閲覧

1 第1次試験

(1) 教養試験・専門教科の閲覧

問題、解答及び設問ごとの配点は、平成29年11月上旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

(2) 論文(特別選考)の閲覧と評定

論文の試験問題は、平成29年11月上旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評定の観点
論文	○ 教員としての適性について、意欲、力量、姿勢、論文構成力などの観点から評定する。

2 第2次試験

(1) 面接試験の閲覧と評定

模擬指導の問題（例）は、平成29年11月上旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評定の観点
面接	○ 「本市が求める教員像」の要素を基本とし、主として模擬指導案、学級経営力、生徒指導力、保護者対応力、同僚性、コミュニケーション力などの観点から、教員としての資質、適格性、人物性を総合的に評定する。

(2) 実技試験の閲覧と評定

実技試験の実施要項は、平成29年11月上旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評定の観点
英語実技	○ ①、②、③について、英語の聞き取り・書き取り、発音、文法の正確さ、流暢さ、発話内容的確さ、意欲、態度などの観点から評定する。 ①リスニング及びディクテーション ②英語による模擬授業を含む口述試験 ③英語によるディスカッション
工業（建築）実技	○ 木造平家建の建物について、与えられた略平面図をもとに、平面図を作成することを通して、製図に対する技能、作成した製図の正確さなどの観点から評定する。